

PRESS RELEASE  
2017.4.30

夢の美術館 -めぐりあう名画たち-

特徴的な建築で「丘の上の双眼鏡」と親しまれている北九州市立美術館は、1974年に公立の美術館として全国的にも先駆けて姿を現し、その5年後、都心部の憩いの場所である大濠公園に福岡市美術館が開館しました。以後、両館は展覧会をはじめとして様々な取り組みによって福岡の美術史を牽引し続けています。今回の展覧会は、偶然にも2館が改修工事のために休館したため実現した「夢のような」展覧会であり、内容を見てもフランス印象派から国内外の現代美術まで幅広く見渡すことができます。

そして、2つの館が所蔵するコレクションが全く別の美術館でめぐりあうと、それぞれの作品が今までと異なる形で共鳴しはじめます。それは、新たな文脈を持ったコレクションができあがったかのような錯覚を引き起こし、まさに「夢の」美術館が誕生します。

展覧会名	夢の美術館-めぐりあう名画たち-
会期	2017年6月3日(土)-2017年7月16日(日)
作品数	約70点
会場	久留米市美術館(本館2階)
主催	久留米市美術館、テレビ西日本、西日本新聞社
特別協力	福岡市美術館、北九州市立美術館
協賛	日本通運株式会社、株式会社ライブアートボックス
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店
企画協力	株式会社TNCプロジェクト
後援	九州地方知事会、福岡市、北九州市、北九州市教育委員会、久留米市教育委員会
入館料	一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大高生500円(400円) 中学生以下無料 ※ ( )内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上、前売りあり。上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
開館時間	10:00-17:00(入館は16:30まで)
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(在来線あり) 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当: 森智志 広報担当: 森智志、稲富景子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内) TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

## 展覧会のみどころ

### その1 両館のおすすめ作品5点

ダリ、シャガール、草間彌生など、福岡市美術館と北九州市立美術館のおすすめ作品を各5点ずつ展示。



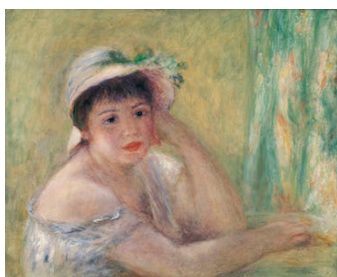
エドガー・ドガ《マネとマネ夫人像》  
1868-69年頃 北九州市立美術館蔵



クロード・モネ《睡蓮、柳の反影》  
1916-19年 北九州市立美術館蔵

### その2 九州から世界まで

フランス印象派から現代美術まで、両館の幅広いコレクションを紹介。九州の芸術運動も含めて、国内外の20世紀美術を概観できる。



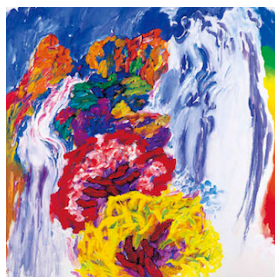
オーギュスト・ルノワール  
《麦わら帽子を被った女》  
1880年 北九州市立美術館蔵



やなぎみわ《Eternal City I》  
1998年 福岡市美術館蔵

### その3 各美術館の特徴

特徴的な作品収集の歴史や、展覧会以外でのコレクションの活用方法を作品とともに紹介する。



田淵安一  
《虹の瀧「未完の季節」(NO.24)》  
1981年 北九州市立美術館蔵



三岸好太郎《海と斜光》  
1934年 福岡市美術館蔵



吉田博《溪流》  
1934年 福岡市美術館蔵

## PRESS RELEASE

2017.4.30

### 関連事業

美術講座「美術館で演劇？北九州市美のコレクションの使い方」

6月3日（土）14：00－15：00（開場13：30）

会場：久留米市美術館 本館1階多目的ルーム

定員：先着70名（聴講無料、要「夢の美術館」展チケット）

講師：小松健一郎氏（北九州市立美術館学芸員）

北九州市立美術館と北九州芸術劇場は、展示室のなかで所蔵作品を題材にした演劇を上演し、実際の作品も鑑賞するというコラボ公演を5年にわたって開催しています。展覧会以外でのコレクションの使い方を学芸員に聞いてみましょう。

美術講座「あの作品はどう運ぶ？福岡市美のお引っ越し」

7月8日（土）14：00－15：00（開場13：30）

会場：久留米市美術館 本館1階多目的ルーム

定員：先着70名（聴講無料、要「夢の美術館」展チケット）

講師：渡抜由季氏（福岡市美術館学芸員）

福岡市美術館は建物ごとリニューアル中。ですが、あの1万点を超すコレクションは一体どうなったのでしょうか？今回は、保存管理のプロフェッショナル「コンサバター」に美術館の引っ越しについてお話ししてもらいます。

### ギャラリートーク

美術館スタッフが「夢の美術館-めぐりあう名画たち-」のギャラリートークを行います。

開催日 毎週土曜日（6/3、7/8をのぞく）、日曜日

時間 14：00-14：20

集合場所 本館2階エントランス（参加無料、要「夢の美術館展」チケット）

### 作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。

PRESS RELEASE

2017.4.30

久留米市美術館 「夢の美術館」展 広報画像利用申込書

久留米市美術館 学芸課 宛 fax:0942-39-3134

本展覧会広報用素材として、作品画像を9点ご用意しております。  
ご希望の際は下記申込書に必要事項をご記入の上、ファックスにてお申し込みください。  
作品掲載に関する注意点はプレスリリース「作品掲載に関するお願い」を参照ください。

媒体名：『 \_\_\_\_\_ 』

○ 印をつけてください。

種別：TV ラジオ 新聞 雑誌  
フリーペーパー その他

掲載予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

(〒 \_\_\_\_\_ )

ご住所：

tel： \_\_\_\_\_ : fax \_\_\_\_\_

図版番号：ご希望の図版番号に✓をおつけください。

- 1 エドガー・ドガ《マネとマネ婦人像》1868-69年頃 北九州市立美術館蔵
- 2 クロード・モネ《睡蓮、柳の反影》1916-19年 北九州市立美術館蔵
- 3 ピエール＝オーギュスト・ルノワール《麦わら帽子を被った女》  
1880年 北九州市立美術館蔵
- 4 瑛九《卵（そふとなバランス）》1940年 北九州市立美術館蔵
- 5 田淵安一《虹の瀧（「未完の季節」NO.24）》1981年 北九州市立美術館蔵
- 6 ラファエル・コラン《若い娘》1894年 福岡市美術館蔵
- 7 吉田博《溪流》1910年 福岡市美術館蔵
- 8 松本竣介《彫刻と女》1948年 福岡市美術館蔵
- 9 三岸好太郎《海と斜光》1934年 福岡市美術館蔵
- 10 やなぎみわ《Eternal City I》1998年 福岡市美術館蔵
- 11 その他：「 \_\_\_\_\_ 」

広報お問い合わせ先：久留米市美術館 学芸課 森  
〒839-0862 久留米市野中町 1015 tel:0942-39-1131 fax:0942-39-3134